

ROTARY CLUB OF

**KANAZAWA-NORTH**



**金沢北ロータリークラブ**

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：小杉善二 幹事：塩村喜代次

情報委員長：米沢修一

1980・2月28日 第160号

## 七十五周年記念事業報告

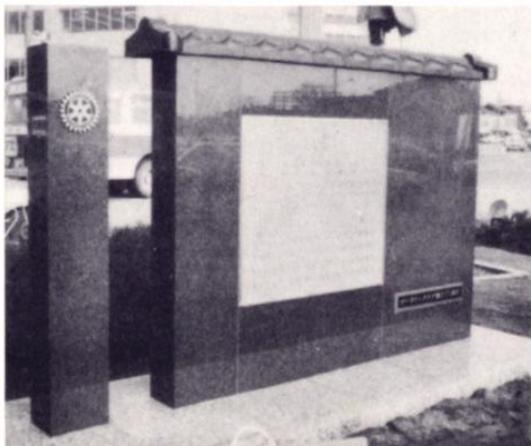
75周年委員長代表

徳田 与吉郎

国際ロータリーが75周年記念事業として大きく取り上げております、3H運動、即ち、飢餓の追放・人間尊重・保健のプログラムへの協力は5クラブ共、年度期首、すでに満額寄付済みでございますので、それぞれの委員会に与えられました任務は地区に於ける記念事業の計画竝に実施でございました。

まず共同目的の記念事業でございますので、市内5クラブの委員長さん方の連絡会議を開きましたところ、期せずして5クラブ共同で実施することが最善ということに合意、爾来ホームクラブの意を体し、4回の会合をもちまして次の5事業に決定いたしました。

1. 3H運動への協力。
2. 5クラブ合同の記念例会の開催。
3. 記念講演の実施。
4. 金沢市民憲章の作文コンクール実施への協力。
5. 金沢市民憲章碑を金沢駅前に建立。



## 私 の 名 刺

長 谷 川 壘 人



大場松魚先生と魚住安彦様よりの御推薦により、この1月名誉ある金沢北ロータリークラブに入会を許されましたこと、心から感謝致して居ります。ロータリーに関し今後少しでも多くその精神に触れる様努力・勉強致すつもりであります。どうぞ宜敷くご指導頂きます様、お願い申し上げます。

私は昭和10年6月、金沢の浅の川の辺りで成長しました。そしていろいろな楽しい遊びを川の堤防付近で近所の悪童達と一緒にやってやりました。又、どうも絵を描くのが大好きであったらしく、小学校六年間を通して図工の欄は必ず優のハンコがずっと並んでいた

様に憶えが有り、お蔭で通信簿の点を大分特を致しました。

戦後間も無い物資困窮期でしたし、高級絵具等勿論買えませんでしたので、もっぱら鉛筆デッサンばかりを中学校時代は楽しみました。世の中は喰う事に一生懸命でしたので、将来自分の絵を通して生活したい等と夢の又夢みたいな憧れが起きて来ても、当然の様に諦めて居りました。

親心で喰える様にと高校の機械科を卒業、自動車整備士として2年間勤める様になりましたが、高校時代は勉強よりも西洋美術書を読むのが仕事で、毎日県・市の図書館に日参しました。放課後まち兼ねた様に飛んで行き、書庫中に有るギリシャ彫刻から始まり中世の絵画建築、印象派から野獣派、そして近代の絵画彫刻に至る西洋美術書を片っぱしから見たのですが、あまり毎日の事なので係の人もしまいには邪魔くさくなったのでしょう直接書庫に案内してくれ、お前の好きな様に観ろと言われた様な憶えもあります。整備士稼業中身体を壊したのでやめて家でブラブラしている時、縁あって陶窯造りの仕事に入り、8年位沢山の経験をさせていただきました後、昭和39年独立致しました。この頃から東洋の精神、東洋の芸術の奥深さに気がつき始めたのですが、若かりし頃の西洋一辺倒を経て居りましたので、尚更その知恵に触れたのでしょう目の醒める心地して後、迷いがなくなり本当に有りがたく想って居ります。

昭和44年日本伝統工芸展に初入選、同53年奨励賞を頂戴致しましたが、造る事につらく言って息切れがしそうになる時、天より与えられる心の潤滑剤が賞であろうと想い、陶窯家としてもっともっと努力したいと念じて居ります。

## 情 報 抄 録

### 初めて飛んだ人

おおよそ75年前のことだが、後にロータリアンになった一人の冒険家が初めて飛行機を操って空を飛ぶことに成功した。

その人は？ オービル・ライトである。彼は、1913年に、米国オハイオ州デイトン・ロータリ

ー・クラブの会員となった。その同じ年に、国際ロータリーの後援による最初の大規模の災害救援プログラムが、米国オハイオ州とインディアナ州の水害罹災者の救恤に当たったデイトンロータリークラブその他のクラブのために行なわれた。

# ロータリー創立七十五周年記念

## 金沢5ロータリークラブ合同例会



合同例会会場



金沢RC 竹内会長挨拶



田中ガバナー挨拶



金沢市民憲章碑の目録贈呈



市民憲章感想作文表彰



乾杯の音頭 金沢北RC 小杉会長



記念講演 鎌倉RC 蔵並定男氏



金沢北RCのメンバー

